

好学尚武

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R8. 6. 25

発行ナンバー 1280号

練習試合の結果

20日(土)

下級生同士で浦和実業学園高校と試合をす
る予定でしたが、雨のため中止になりまし
た。

21日(日) 対青洲高校

第1試合 2対8 敗退

第2試合 途中まで

通算結果 24勝 12敗 4分

仲間

2週続けて山梨県に遠征しました(この時期
はどのチームも他県との試合を多く組んでい
ると思います。大会直前、組み合わせ抽選の結果
を気にせず練習試合が実施できるからです)。

山梨県は今夏の出場校が33校(31チー
ム)、私これまで(自慢じゃありませんが)この
うち20校以上と練習試合をさせていただいて
いると思います。試合では戦いますが、基本、
野球を通じての仲間(山梨県の方々ですから)
野球をしていなかったら友人関係になることな
ど間違いなくなかったと思います。

野球に感謝、お金で買えないものを大切にし
たい(50歳を過ぎた今、そんな風に感じる
ことが多いです)。

良き伝統

市高らしいな(そう思いました)。

つい最近の練習中、3年生部員と1年生部員が
ペアでティーバッティングをしていて(親しげに)
あーでもない、こーでもないと話している様子
を見たからです。

私自身も市高1年生時の同じ時期、こんな経験
をしています。全体練習が終わったあと、同じポ
ジション(ショート)のレギュラーだった3年生
の先輩に声を掛けていただき、大きな鏡のある卓
球場でのスイング練習を何度かご一緒させてい
ただいたのです(文面で分かっていただけと思
いますが、先輩による命令とは正反対な感じでの
お誘い)。具体的な言葉は思い出せませんが、ス
イングをしながら(技術的なことだけでなく)自
分達が引退した後もしっかり頼むぞ!そんな声掛
けをしていたと記憶しています。

当時(他校に進学した)中学校時代の野球部仲
間に市高野球部がそんな感じの雰囲気であるこ
とを話しました(1年生でも普通に練習するし、
威張っている先輩など全くいない(驚かれました
。当時の時代背景などもあります。他校はま
ったく違かったようです(ここでは書けません)。

皆がノビノビ活動できる雰囲気、これも私が大
事にしている「見えない(数字にならない)力」
です。市高は私の入学直前、全国ベスト4の成績
を残しましたが、チームの雰囲気が大きかったの
ではないでしょうか(よく、まぐれというよう
なことを言われますが、まぐれはそんなに続きま
せん(10連勝以上などできません)。見えない力
を真の力にした成果だったのだと思います。

今年も市高らしく戦いたいと思います。